

10/3 CS 奨励 ～ルカによる福音書 24 章 13～35 節～

「イエス様からの語りかけを聴こう」

担当：森川 莞太

■ 奨励

おはようございます。毎週グループ制で教会に集い、礼拝を守れるようになったものの、まだまだコロナの影響により、CS 再開までは難しい状況にあります。このような状況下でも、みんなで同じ神様からの御言葉（聖書箇所）を読み、恵みに与る時間を持ちましょう。

まずは、対象の聖書箇所を朗読してください。**ルカによる福音書 24 章 13～35 節**

13 節冒頭にある、“ちょうどこの日”とは日曜日の朝早く、婦人たちがイエスの墓を訪ねた後、空の墓とイエスが復活したという天使のお告げを弟子たちに伝えたときとされる日を指しています。

この日 2 人のイエスの弟子がエルサレムから 60 スタディオン(約 11 キロ)離れたエマオの村に歩きながら、“一切の出来事”、すなわち十字架の処刑と復活について話し合っていました。そこにイエスご自身が近づき、一緒に歩き始め 2 人に話しかけられます。

しかし、この時 16 節に記載の通り、2 人の目は遮られており、この近づいてきた人がイエスだとは分かりませんでした。

イエスは一切の出来事を知っていましたが、あえて何のことを話しているのかと 2 人に質問します。2 人の弟子は暗い顔をして立ち止まり、イエスの質問にお答えしました。

ナザレのイエスのことで、行いにも言葉にも力のある預言者として信じていたが、祭司長や議員にはめられ、十字架につけられて死んでしまったことに失望をしていること、イスラエルを救うこともなかったと残念に思っていること、また、イエスが死んだ 3 日目に、「イエスは生きておられる(復活した)」と天使が告げたことを婦人たちから聞いても、驚くだけで喜びはしなかったことをお伝えしました。(20～24 節)

つまり、先程の 16 節にあった“目は遮られており”という表現にある通り、2 人の弟子はまだこの時点で、イエスの復活のことを信じることができていませんでした。

そこでイエスは、「預言者たちの言ったことを信じられないものたちよ！」と 2 人を一喝し、キリストは必ず苦しみを受けて、栄光に入るはずではなかったのか、栄光が明らかにされるのは、主の復活の出来事をもってのみである ということを、モーセと全ての預言者から始め、聖書全体を通して 2 人の弟子に解き明かしました。

28 節、一行は目的地のエマオに着きましたが、イエスはなお先に進もうとします。もっと話を聞きたい

と考えた弟子の2人は、一緒にお泊まりくださいと無理にイエスを引き止めます。

ここで重要となるのは、2人が自発的に動いたということです。泊まるということから、神のことをもっと知りたい、神と親しい関わりを持ちたいと言う気持ちが暗に示されています。もしここで弟子たちの関心が薄ければ、イエスは先に進み去って行かれたことでしょう。イエスは共に泊まるため家に入れ、一緒に食事の席につき、パンを取って、賛美の祈りをして、パンを裂き2人の弟子にお渡しになりました。

その瞬間、弟子2人の目が開け、一緒に連れて歩いていた方はイエスだと分かりました。聖霊の働きにより、この方こそ不信仰な自分達のために、神の計画に従い、十字架につけられて死んでくださり、復活されて栄光に入ったキリストであると気づかされました。心の目ではイエスと分かりましたが、姿自体は消えて見えなくなりました。

そこから、エマオまでの道のりで話しておられる時、聖書を説明して下さった時、自分たちの心は燃えていたということを思い起こし、2人の弟子はすぐ出発してエルサレムに戻ります。そこで他の弟子たちに、本当に復活したイエスと出会った次第の話をするのです。

私たち自身も、普段の何気ない生活の中では、ただ目に見えるもの、聞こえるものだけを信じるようになりがちです。罪深い私たちは、日々些細な罪を犯してしまうことによって「心の目」は閉ざされ、神を見ることができない状態に陥りやすくなります。

しかし、今回の聖書箇所から、聖書に書かれた神のみ言葉を通して、私たちの「心の目」は開かれ、神の御心を知ることができるようになることを学びました。

新型コロナウイルスの影響で、ここ最近はみんなで教会に集い、賛美をしたり祈ったり、聖書のみ言葉に耳を傾けることは難しくなっておりますが、オンラインを通じて礼拝生活を守ること、一人一人が聖書を開き御言葉に触れることで、主は豊かに私たちに語りかけ、恵みを与えてくださいます。忙しい普段の生活の中でも、ぜひ神様と向き合う時間を作ってください。クリスチャン、神の家族として、みんなが常にみ言葉に接し、信仰生活を歩むことができるよう先生もお祈りしております。

最後に、、、

ワクチン接種など感染対策は進んでおりますが、まだまだコロナ感染の油断はできない状態であるため、手洗いうがい、睡眠、適度な運動と食事を心がけ健康管理に気をつけてください。また元気に教会で会えることを楽しみにしております。